【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【公開番号】特開2017-129982(P2017-129982A)
【公開日】平成29年7月27日(2017.7.27)
【年通号数】公開・登録公報2017-028
【出願番号】特願2016-8137(P2016-8137)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1333　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/044　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/041　４３０
Ｇ０２Ｆ　1/1333
Ｇ０６Ｆ　3/044　１２８

【手続補正書】
【提出日】平成30年8月13日(2018.8.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１端子を備えた第１基板と、
センサ信号を出力する第２端子を備えた第２基板と、
前記第１基板に接続される第１接続部及び前記第２基板に接続される第２接続部を備えたフレキシブル基板と、を備え、
前記フレキシブル基板は、前記第１接続部と前記第２接続部とに位置する連続したベース層と、前記ベース層の前記第１基板と対向する側に位置する導電層と、前記導電層の前記ベース層とは反対の側に位置し前記導電層の一部を覆うカバー層とを備え、
前記導電層は、前記第１接続部において前記第１端子に接続される第１導電層と、前記第２接続部から前記第１接続部に延びた第２導電層と、を備え、
前記カバー層は、前記第２導電層を覆う領域と、前記第１導電層を露出する開口部とを、前記第１接続部に有し、
前記第１導電層は、前記開口部と重なる位置で、前記第１端子に接続される、
センサ付き表示装置。
【請求項２】
さらに、前記第１基板に実装された駆動ＩＣチップを備え、
前記フレキシブル基板は、前記第１接続部と前記第２接続部との間において、平面視で前記駆動ＩＣチップと重複しない、請求項１に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項３】
さらに、前記第１基板に実装された駆動ＩＣチップを備え、
前記フレキシブル基板は、前記第１接続部と前記第２接続部との間において、平面視で前記駆動ＩＣチップと重複する、請求項１に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項４】
前記第２導電層は、前記第２接続部において前記第２端子に接続され、前記第１接続部において前記第１基板に位置する導電部材とは接続されていない、請求項１乃至３のいず

れか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項５】
前記第１基板は、画素を含み、
前記第１端子には、前記画素へ供給される信号が入力され、
前記第２基板は、タッチ検出を行う検出電極を含み、
前記第２端子は、前記検出電極と接続する、請求項１乃至４のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項６】
前記第１導電層は、前記第１接続部において第１方向に延び、
前記第２導電層は、前記第１接続部において、前記第１方向へ交差する第２方向に前記第１導電層と並ぶ領域を有する、請求項１乃至５のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項７】
前記第２導電層は、前記第１接続部の前記第２接続部とは反対の側へ延びる、請求項１乃至６のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項８】
前記フレキシブル基板は、さらに、前記ベース層の前記導電層とは反対側に補助カバー層を備え、前記補助カバー層は、前記カバー層の開口部と重複する位置に設けられている、請求項１乃至７のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項９】
前記補助カバー層は、前記カバー層と同等の厚さを有する、請求項８に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項１０】
さらに、前記開口部に位置し、前記第１導電層と前記第１基板とを接着すると共に、前記第１導電層と前記第１端子とを電気的に接続する導電性接着層を備え、
前記導電性接着層は、前記カバー層と重複しない、請求項１乃至９のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項１１】
さらに、前記第１導電層と前記第１基板とを接着すると共に、前記第１導電層と前記第１端子とを電気的に接続する導電性接着層を備え、
前記導電性接着層の一部は、前記カバー層と前記第１基板との間に位置する、請求項１乃至９のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。
【請求項１２】
前記カバー層は、前記第２導電層を露出する第２開口部を有し、
前記第２導電層は、前記第２開口部と重なる位置で、前記第２端子に接続される、請求項１乃至１１のいずれか１項に記載のセンサ付き表示装置。